

# 昭和の結婚式カップルを募集



昭和30年代に小平周辺で行われていた結婚式を後世に残すため、市の文化財を使って再現します。これから結婚を予定されているカップルも、記念日のイベントとして挙式をお考えのご夫妻も、思い出に残る結婚式を体験してみませんか。

**とき** 11月3日(金・祝) 午前10時30分から(2時間程度)

**ところ** 小平ふるさと村旧神山家住宅主屋

**費用** 35万円(飲食代別)

※新郎新婦の和式貸衣装、ヘアメイク、かつら、着付け、挙式中の介添えなどを含む。

**対象** 新郎新婦のいずれかが市内在住または在勤で、参列者が新郎新婦を含め両家合わせて20人、公開の前結婚式で、小平の昭和30年代ごろの結婚式の再現に賛同し協力できる方



**募集人数** 1組

**申込み** 5月21日(日)までに、申込用紙を問合せ先へ持参または送付(選考により6月9日(金)までに決定の予定)

※詳しくは、募集要項をご覧ください。申込用紙と募集要項はルネこいだいら、ふるさと村、市政資料コーナー(市役所1階)にあります。また、ホームページからダウンロードもできます。

**照会先** 小平ふるさと村

**問合せ** 小平市文化振興財団 ☎042(345)5111

## 小平ふるさと村 5月の行事と催し

◆こいのぼりと五月人形の展示

**とき** 5月7日(日)まで

◆親子郷土学習 紙のこいのぼり・かぶと作り

**とき** 4月29日(土・祝)～5日(金・祝) 午前10時～正午、午後1時～3時

※幼児や小学校低学年向き。完成品は持ち帰りができます。

◆紙芝居を楽しもう

子どもから大人まで楽しめる紙芝居の実演です。

**とき** 5月20日(土) 午後2時30分～3時30分

**主催** 小平紙芝居サークルともしび、小平市文化振興財団

**問合せ** 小平ふるさと村 ☎042(345)8155

◆小平糧うどん

**営業日** 5月3日(水・祝)～7日(日)・13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)・28日(日)

※団体予約(10人～30人で日曜日のみ)の利用は午後1時30分以降になります。利用日の10日前までに問合せ先へ申し込んでください。

**問合せ** 武蔵野手打ちうどん保存普及会・江連 ☎042(343)5153



## 緑のカーテンを育てて 楽しく省エネ

緑のカーテンとは、夏の強い日差しを和らげ、室内の温度の上昇を抑えるために、窓や壁際につける性の植物を配置する自然のカーテンです。

◆環境家計簿登録者に緑のカーテン用苗・堆肥を配布(先着百人)  
**とき** 5月11日(木) 午前10時～午後2時  
**ところ** 中央公民館講座室1  
**申込み** 5月8日(月)までに、住所、氏名、電話番号を問合せ先へ(電話・電子メール可、先着順)  
※5月11日(木)までに、Webまたはアプリ版環境家計簿の登録をしてください。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせは6面欄外QRコードからダウンロードできます。  
**照会先** 小平市環境家計簿 楽しく省エネ  
**問合せ** 環境政策課 ☎042(346)68108 ☒kankyoseisaku@city.kodaira.lg.jp

「七つの子」などで知られる詩人・野口雨情にちなんだうたまつりを、市民による実行委員会の手作りで開催します。  
**とき** 5月28日(日) 午後1時30分開演 1時開場  
**ところ** ルネこいだいら大ホール  
※駐車場はありません。  
**費用** 500円(全席自由)  
※未就学の子どもは無料です。  
**主催** こいだいら雨情うたまつり実行委員会、小平市文化振興財団  
**申込み** ルネこいだいらチケットカウンター ☎042(346)9000  
※ルネこいだいら友の会の割引や送付サービスはありません。  
**問合せ** 小平市文化振興財団 ☎042(345)5111

▽4月23日(日) 午前11時30分開演  
**ところ** ルネこいだいら中ホール  
※駐車場はありません。  
**出演** ▽22日：工学院大学附属中学・高等学校、都立小平高等学校、都立保谷高等学校  
▽23日：都立八王子拓真高等学校、八王子高等学校、都立小平西高等学校、拓殖大学第一高等学校  
**主催** 東京都高等学校演劇連盟多摩北地区、小平市文化振興財団  
**問合せ** 小平市文化振興財団 ☎042(345)5111



## フォトニュース

# 入学おめでとう

市立小学校新一年生として1,639人が仲間入りしました。

4月6日(木)、晴れわたる空の下で市立小学校の入学式が行われました。小学生になって楽しみにしていることを、この日入学したばかりの子どもたちが教えてくれました。何を書こうか真剣に考えながら、小学校生活への期待に胸を膨らませる新一年生。初々しい笑顔は満開の桜のようでした。

